

# 株式会社 ニチイ学館 和歌山支店

業種 サービス 所在地 和歌山市美園町4-90 山十ビル2F TEL 073-436-2310 FAX 073-426-1821  
 従業員 正規338名(男40:女298)/非正規632名(男42:女590) WEB https://www.nichiigakkan.co.jp  
 結婚・子育てのための取り組み 結婚休暇/産前産後休暇/子の育児目的休暇/子の看護休暇/育児休業/家族愛休暇/子の学校行事休暇/短時間勤務制度



1968年の創業以来、教育・医療・介護の3事業を柱に新しい価値やサービス創出に取り組んできました。近年は育児支援や保育、語学教育などに事業を拡大し、総合生活支援企業として豊かな生活作りに努めています。



## ニチイのノウハウや経験を活かし 仕事と子育てが両立できる自社保育園を開園



安心して産休・育休が取れるためにできるのは、いつでも戻れる環境を整えること

2017年に開園した企業主導型保育園「ニチイキッズ」の対象は待機児童になりやすい0歳児、1歳児からです。現在和歌山市内に2園があり、従業員の子供だけでなく、提携企業や地域の子供も定員内であれば受け入れています。その開園にあたり、当然保育士が従業員に加わったわけですが、彼女たちもちょうど結婚や出産を控えた年齢で、開園

から保育士として働いている社員の1人が昨年育休から復帰したばかり。現在も4人が産休・育休を取っているところです。ありがたいことに全員復帰することを望んでくれていて、預けるところがある安心感をリアルに感じてもらっています。

園のコンセプトは「わくわく遊

ぶ、すくすく育つ」。認可外保育園なので人員配置の基準などはないのですが、認可保育園と同じ人員を配置し、リトミックや週1回の英語レッスン、食育にも力を入れ、自園で100%手作りの食事やおやつを提供しています。

また短時間勤務制度も導入しているので、復帰後フルで働くのが負担な場合は働き方を見直すことも可能です。また、子供がある程度の年齢になるまではパート勤務にするなど、フルタイム勤務やパート勤務を子育ての状況に応じて働くことができます。

以前から仕事と育児や介護の両立支援に取り組んできたことから、2013年には厚生労働大臣認定の子育てサポート企業の証である「くるみんマーク」を、2015年には仕事と介護を両立できる職場環境が整っているとして「トモニマーク」を取得しました。今後もあらゆる従業員にとって働きやすい環境を作りたいと思っています。



保育課課長/藤原万有美さん

### 課題解決までのプロセス

#### 解消したい課題

#### ワークライフバランスの改善

- もともと女性が多いため、仕事と出産・育児の両立はワークライフバランスの大きな課題に。子供が保育園に入れず仕事を辞めるケースも。
- 自社や提携企業の従業員の育児支援で、働きやすい環境を整えたい。
- 開園に必要な保育士の確保と離職防止も課題。

#### 課題への取り組み

#### 企業主導型の保育園「ニチイキッズ」を開園

- 従業員や提携企業ほか、地域住民も利用できる企業主導型保育園を開園。低年齢児を対象とした小規模でアットホームな雰囲気が特徴。
- 自社で培ったノウハウを活かし、行事にリトミック・英語レッスン、食育(自園調理)を導入。
- 仕事と育児の両立支援として、産休・育休や短時間勤務、看護休暇など、家族のための時間を確保できるよう配慮。
- 緊急時にも対応できるよう人材採用を充実させ、どの仕事も全員ができるように徹底。

#### 導入成功のアイデア

もともと認可保育園を中心に、企業主導型保育園、小規模保育園、院内事業所内保育園、子育て支援センター等の受託運営まで、幅広い保育関連事業のノウハウがグループ内にあったため、スムーズに導入できた。

#### 導入の成果

#### 仕事と育児の両立への安心感アップ

- 自社、提携企業ともに0歳児から子供を預けて働ける場所を確保。
- 復帰後も必要に応じてフルタイムとパートの切り替えができることが仕事と育児両立の安心材料につながる。
- 保育士もタイミングに困ることなく産休・育休が取れ、その全員が復帰の意思を表明。
- 認可保育園と同じ人員配置ができたことで、保育の質を確保すると同時に、働く保育士も安心して産休・育休が取れるように。

#### 現場の声



産休・育休復帰後、企業主導型保育園を利用している保育士の寺田さん

産前も産後もしっかり休みをいただけたので、かわいい時期をじっくり子供と過ごすことができました。

復帰後は子供と一緒に登園。休んでいる期間に新たな園児たちが増えていたり、変わっていることも少なからずありました。仕事との両立に最初はすごく不安だったのですが、先生方が気にかけてくれることで励みになり、今は少しずつ働きを取り戻している最中です。

現在産休・育休中の先生たちには

子供との時間があるという幸せ

先輩として「待ってるね」と話しています。自分の子の担当はしていませんが、壁のない保育園なので様子が見え安心しています。保育士とはいえママとしては新米。節目節目で子供と共に悩み、考えながら、解決していこうと思います。

